

I 日本語・日本事情教育：  
日本語研修コース(初級)(年次報告(平成28年度後期・  
29年度前期))

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2018-03-27 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 熊井, 浩子 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.14945/00024870">https://doi.org/10.14945/00024870</a>

# I 日本語・日本事情教育

これまで、国際交流センターが開講する日本語科目には、単位がない科目（日本語研修コース）及び国際交流センターの単位が付与されている科目（日本語教育プログラム、日本研修・交流プログラム）があったが、大学教育センター・国際交流センターの規則改正を行い、平成28年度後期から、これらを全て大学の正規科目である全学教育科目としても開講し、交換留学生及び日本語・日本文化研修留学生が「日本語・日本文化研修科目」として単位を取得できるように整備を行なった。これは、これらの学生が母国の大学で単位認定を受けやすくするための措置である。研究生は従来通り、国際交流センターの科目として履修している。

## 日本語研修コース（初級）

熊井 浩子

### 1. コースの概要

28年度後期（第32期）は、正規生は1名もおらず、台湾とアメリカの交換留学生各1名とABP修士1年生のインドネシアの学生1名、計3名が受講した。ABP修士は通常週4コマの日本語教育プログラムを受講するが、この学生は指導教員が海外研修中であること、及び、かつてその専攻の研究室に所属していた学生が日本語研修コースを受講し、ドクター取得後は母国の大学で教員となって、本大学との学術・学生交流の中心として活躍していることから、日本語教育の必要性・意義を非常によく理解してくれていたこともあって、ABP修士としては初めてこの集中コースで学ぶことになった。

しかし、2名の交換留学生が国の大学である程度日本語を勉強してきた学生であることや、教室の外でも日本語を使う機会が比較的多かったことなどから、次第にABP修士学生との差が広がっていき、同時に進めることがむずかしくなったため、後半では両者の進捗や内容を変えて2部授業のような形で実施した。その結果、交換留学生は通常の研修コース修了生に比べ高い日本語力を身に付けることができるなど、双方が満足する成果をあげることができ、交換留学生2名については全学教育科目の全15単位を取得し、ABP修士の学生はセンター科目として修了証が授与された。

29年度前期は、パプアニューギニア出身の理学部の研究留学生1名が正規生として受講した。これまでの同国出身者の学習スタイルに配慮して、基礎日本語については、通常1課3コマのペースで進めるところ1課4コマのペースで進めた結果、多少の生活上の困難点以外は大きな問題もなく進めることができた。研究留学生はセンター科目としての受講となり、従来通り受講証が授与された。

## 2. 授業期間

日本語研修コース（第32期） 平成28年10月11日～平成29年2月10日 15週

日本語研修コース（第33期） 平成29年4月10日～平成29年7月28日 15週

## 3. 平成28年度後期 日本語研修コース（第32期）

### 3. 1. 受講者

クラス	受講者	国	所属・在籍身分
日本語1	1	アメリカ	ネブラスカ大学交換留学生
	2	台湾	台北科技大学交換留学生
	3	インドネシア	総合科学技術大学院（ABP修士）

### 3. 2. 時間割

#### 日本語1

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1・2時限 8:40～10:10	基礎日本語	基礎日本語	基礎日本語	基礎日本語	基礎日本語
3・4時限 10:20～11:50	基礎日本語	基礎日本語	基礎日本語	基礎日本語	基礎日本語
5・6時限 12:45～14:15	漢字	作文	聴解	日本の生活	会話

### 3. 3. 授業内容

#### 日本語Ⅰ（入門）

目標：日本語の基礎的な構造・表記を学び、日常生活における基本的なコミュニケーション力を身に付ける。

#### 基礎日本語 10コマ/週

目的：日本語の基本的な構造・表記を理解し、日常的なコミュニケーションの基礎を身につける。

内容：初級文型の総合的なコミュニケーション練習

使用教材：『みんなの日本語 本冊』初級Ⅰ・Ⅱ（スリーエーネットワーク）

『みんなの日本語 翻訳・文法解説 英語版』初級Ⅰ・Ⅱ（同上）

『日本語かな入門 英語版』（国際交流基金）

**会 話** 1コマ/週

目 的：既習項目を使って、日常生活のさまざまな場面で、いろいろな活動・コミュニケーションができるようになる。その活動をとおして、異文化の考え方・習慣を学ぶ。

内 容：基礎日本語の既習事項の運用練習。会話のストラテジーを身につけ、日本人と円滑なコミュニケーションが行えるようにするための練習。スピーチ練習。日本語ネイティブスピーカーとの会話。

使用教材：『みんなの日本語 本冊』初級Ⅰ・Ⅱ（スリーエーネットワーク）  
『みんなの日本語』会話DVD他適宜

**聴 解** 1コマ/週

目 的：日本語の音声から必要な情報を得られるようになる。  
日常生活において基本的なコミュニケーションができるようになる。

内 容：CD・テープ・ビデオなどを使った聞き取り練習及び発音練習。

使用教材：『聴解タスク25』初級Ⅰ・Ⅱ（スリーエーネットワーク）  
『楽しく聞こう』（文化外国語専門学校）等適宜

**作 文** 1コマ/週

目 的：既習の語彙や文型を文章の中で適切に使えるようにする。さまざまなテーマで作文を書くことによって、語彙・表現を増やす。

内 容：全体的な構成を意識しながら、日常的なトピックについて作文を書く・文集作成

使用教材：『やさしい作文』（スリーエーネットワーク）

**漢 字** 1コマ/週

目 的：日常生活・勉学生活に必要な基本的漢字の読み書きを身につける。  
日本語研修コース修了後も自分で学習を継続できるような漢字学習法を学ぶ。

内 容：初級前半の漢字の読み・書き、読解

使用教材：『みんなの日本語 漢字 英語版』Vol.1（スリーエーネットワーク）  
『Basic Kanji Book』VOL.1（凡人社）  
『みんなの日本語 初級で読めるトピック25』（スリーエーネットワーク）

**日本の生活** 1コマ/週

目 的：主に新規来日の学生を対象とする。スムーズに日本の生活に適応するため、基礎的な日本文化・社会に対する理解を深める。

内 容：日本の文化・習慣など、日常生活で最低限必要なこと。見学などを随時行なう。

使用教材：適宜

#### 4. 平成29年度前期 日本語研修コース（第33期）

##### 4. 1. 受講者

クラス	受講者	国	所属・在籍身分
日本語1	1*	パプアニューギニア	理学部研究留学生

\*：正規生

##### 4. 2. 時間割

###### 日本語1

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1・2時限 8:40～10:10	基礎日本語	基礎日本語	基礎日本語	基礎日本語	基礎日本語
3・4時限 10:20～11:50	基礎日本語	基礎日本語	基礎日本語	基礎日本語	基礎日本語
5・6時限 12:45～14:15	漢字	作文	聴解	日本の生活	会話

##### 4. 3. 授業内容

###### 日本語1（入門）

目標：日本語の基礎的な構造・表記を学び、日常生活における基本的なコミュニケーション力を身に付ける。

###### 基礎日本語 10コマ／週

目的：日本語の基本的な構造・表記を理解し、日常的なコミュニケーションの基礎を身につける。

内容：初級文型の総合的なコミュニケーション練習

使用教材：『みんなの日本語 本冊』初級Ⅰ・Ⅱ（スリーエーネットワーク）

『みんなの日本語 翻訳・文法解説 英語版』初級Ⅰ・Ⅱ（同上）

『日本語かな入門 英語版』（国際交流基金）

###### 会話 1コマ／週

目標：既習項目を使って、日常生活のさまざまな場面で、いろいろな活動・コミュニケーションができるようになる。その活動をとおして、異文化の考え方・習慣を学ぶ。

内容：基礎日本語の既習事項の運用練習。

使用教材：『みんなの日本語 本冊』初級Ⅰ・Ⅱ（スリーエーネットワーク）

『みんなの日本語』会話DVD

**聴 解** 1コマ／週

- 目 的：日本語の音声から必要な情報を得られるようになる。  
日常生活において基本的なコミュニケーションができるようになる。
- 内 容：CD・テープ・ビデオなどを使った聞き取り練習及び発音練習。
- 使用教材：『聴解タスク25』初級Ⅰ・Ⅱ（スリーエーネットワーク）  
『楽しく聞こう』（文化外国語専門学校）等適宜

**作 文** 1コマ／週

- 目 的：既習の語彙や文型を文章の中で適切に使えるようにする。さまざまなテーマで作文を書くことによって、語彙・表現を増やす。
- 内 容：全体的な構成を意識しながら、日常的なトピックについて作文を書く・文集作成
- 使用教材：『やさしい作文』（スリーエーネットワーク）

**漢 字** 1コマ／週

- 目 的：日常生活・勉学生活に必要な基本的漢字の読み書きを身につける。  
日本語研修コース修了後も自分で学習を継続できるような漢字学習法を学ぶ。
- 内 容：初級前半の漢字の読み・書き、読解
- 使用教材：『みんなの日本語 漢字 英語版』Vol.1（スリーエーネットワーク）  
『みんなの日本語 初級で読めるトピック25』（スリーエーネットワーク）

**日本の生活** 1コマ／週

- 目 的：主に新規来日の学生を対象とする。スムーズに日本の生活に適応するため、基礎的な日本文化・社会に対する理解を深める。
- 内 容：日本の文化・習慣など、日常生活で最低限必要なこと。見学などを随時行なう。
- 使用教材：適宜